

# 一 般 質 問 通 告 書

令和8年第2定例会

順番	議席番号	氏名	発言事項	要旨	答弁を求める者
7	7	竹之内 和 満	1 新図書館の有効活用について	(1) 現在の図書館において①蔵書数②年間の貸し出し数③年間の利用者数はいくらか。	教 育 長
				(2) 新図書館において①蔵書予定数②年間の貸し出し目標数③年間の利用者目標数はいくらか。	教 育 長
				(3) 学校図書館とは現在どのような連携をしており、今後はどのようにしていこうと考えているか。	教 育 長
				(4) 一昨年10月に開館した「阿久根市電子図書館」の利用状況はどうか。また今後のサービス拡充についてはどのように考えているか。	教 育 長
				(5) 本を読む、借りる以外の地域・市民の方が気軽に利用しやすい新図書館にするために考えていることはあるか。	市長・教育長
			2 加速する人口減少に対する対策について	(6) 新図書館までの交通手段のない子どもたちや高齢者の方のためにどのような対策を考えているか。	市長・教育長
				(1) 阿久根市の直近3年間の人口変動、自然増減、社会増減の推移はどのようになっているのか。	市 長
				(2) 阿久根市の直近3年間の出生数・合計特殊出生率の推移はどのようになっているか。	市 長
				(3) 人口減少の緩和に対して行っている主な施策は何か。またその効果と課題についてはどのように考えているか。	市 長
				(4) 新たな施策は考えているか。	市 長
(5) 人口減少・従業員の高齢化・労働条件のミスマッチなどで人	市 長				

				手不足の企業が増えてきているが、雇用・人材対策についてどのように考えているか。		
8	10	仮屋園 一 徳	1 商工振興について	(1) 道の駅阿久根について、指定管理料として、委託料を払っているが、黒字となるよう経営改善はできないのか。	市	長
			2 跡地活用について	(2) 市産業祭について、阿久根総合体育館で行われているが、高齢者には、駐車場からの距離が遠い、場所は最適と言えるが、来場者に対するさらなる支援は考えないか。	市	長
			3 南九州西回り自動車道について	(1) 旧国民宿舎跡地を活用したい旨の問合せはないのか。また、年間の管理費、隣接する記念碑、残地等の管理はどうなっているのか。	市	長
			4 サンセット牛之浜景勝地の道の駅について	(2) 阿久根高校跡地については、どのように管理されているかを市は把握しているのか。また、跡地活用について、県は市や地元の活用相談を待っている状況なのか。	市	長
				(3) 旧青果市場跡地の再公募の見通しは。	市	長
				先日、南九州西回り自動車道のうち、芦北ICから出水ICまでの区間が令和10年度中に開通するとの報道がなされたところであり、阿久根ICまで開通することを見据え、誘客促進事業等の受け皿づくりが大事と思うが、市長の考えは。	市	長
				(仮称) サンセット牛之浜景勝地の道の駅は自治体単独ではなく、民間事業との連携が不可欠と思うが、担当部署については、観光拠点であれば、観光の関係部署も加えるべきと考えるがどうか。	市	長
9	12	山 田 勝	1 寺島宗則記念館について	(1) 令和8年第1回定例会の一	市	長

			て	<p>般質問において、寺島宗則記念館で売主から寄託された仏壇の保管の状況について伺ったが、その後の経過を示せ。</p> <p>(2) 寄託されたものを今後も寺島宗則記念館で保管することが適切と考えるか。</p>	市	長
			2 脇本海岸について	<p>(1) 年間の観光入込客数をどのように把握しているか。</p> <p>(2) 今後、観光のまち阿久根としてどのように発展させていく考えか。</p>	市	長
			3 生活応援商品券事業について	<p>(1) 生活応援商品券を市民一人当たり2万円分支給したが、その財源内訳を示せ。</p> <p>(2) 配布することとなった経緯及び配布に係る経費を示せ。</p> <p>(3) 配送業者を選定した経緯を示せ。</p> <p>(4) 早い人は令和8年3月末、遅い人は令和8年4月末日までの配布だったと聞くが、事実か。</p> <p>(5) 行政執行するに当たり、市民の誰を対象にするか。</p>	市	長
10	9	竹原 信一	1 計画は誰のために作られたのか	<p>(1) 市は約1億3,000万円をかけて11本の施設管理計画を策定した。しかしこれらの計画は精査されず、庁内にも市民にも共有されず、公開もされてこなかった。市民の財産である公共施設の管理計画が、市民に知らされないまま存在してきた。計画の精査・全庁共有・原則公開をいつまでに実現するか。</p> <p>(2) 前回の総括質疑において財政課は積み残し総額の資料を「持ち合わせていない」と答弁し、市長は「積み残しという概念が理解できない」と答弁した。しかし同じ質疑の場</p>	市	長

				<p>で担当課は、公園33億6,000万円・個別施設17億7,000万円・学校7億円の差額を答弁している。市民が現実を知ろうとしても「分からない」「理解できない」と答える執行部は、市民の知る権利に答えていると言えるか。積み残し総額を全庁横断で集計し公表する考えはあるか。</p>		
				<p>(3) 市長は「計画はあくまで参考」「まちづくりビジョンが最上位」と答弁した。約1億3,000万円の計画が参考にすぎないとする理由を市民に説明できるか。参考にすぎない計画の改訂予算を繰り返し計上することの矛盾をどう説明するか。</p>	市	長
				<p>(4) 市長は総括質疑で「政治的判断を総合的に組み合わせて予算編成した」と明言した。客観的な数値に基づく計画ではなく政治的判断で予算が決まるなら、市民はどのような基準で市政を評価すればよいのか。</p>	市	長
				<p>(5) 議会の委員会において個別管理計画の提出要求が「不必要」として否決された。市民の代表である議員が市民の財産の管理計画を見ようとしないうまま、何十億円もの予算を議決してきた。この状態を市長はどのように認識しているか。</p>	市	長
				<p>(6) 市は社会資本総合整備計画の事後評価書（平成27年10月）において、「30公園の計画的な更新・改築が可能となり、施設のライフサイクルコ</p>	市	長

			<p>2 新規事業より既存施設が先ではないか</p>	<p>ストの縮減を図る」と成果目標に明記した。計画策定率100%という定量的指標は達成された。しかし13年が経過した現在、肝心の更新・改築とコスト縮減はほとんど実施されていない。計画を「参考にすぎない」とする市長に、この成果目標の達成状況と市民への説明を求める。</p> <p>(1) 市は約40億円規模の新道の駅建設を進めている。しかし財政課は聞き取りで「財源は項目だけ、維持管理費は分からない」と述べた。財源も将来コストも把握しないまま最大規模の事業を進めることは、将来世代への無責任な負担転嫁ではないか。財源と30年間の維持管理費累計見込みをいつまでに市民に示すか。</p> <p>(2) 個別施設計画では図書館の改修が最重要事項として2億6,000万円で計画されていた。しかしこの計画は市民にも議員にも庁内にも公開されていなかった。市民が知らないまま計画が変更され、建て替えという全く異なる方針が「政治的判断」として実行された。情報を公開しないまま重要事項を決定するこの手法は、市民への説明責任を果たしていると言えるか。</p> <p>(3) 交流センター・図書館・オートキャンプ場・新道の駅等の新規事業は、各個別施設計画においてどのように位置づけられているか。計画に位置づけのない新設を繰り返すことは、計画行政の放棄ではな</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
--	--	--	----------------------------	--	-------------------------------

				いか。		
				(4) 消滅可能性自治体として名指しされた阿久根市で、老朽化施設の積み残しを抱えながら新設を続けることは、将来世代にどのような阿久根市を残すことになるか。新規建設の前に既存施設の老朽化対応を優先する基準を設ける考えはあるか。	市	長
		3	計画改訂を本物にするために	(1) 参考にすぎないとする計画を改訂することに税金を投じる理由を示されたい。改訂後の計画を予算編成の根拠として位置づけ、市民への約束として扱う考えはあるか。	市	長
				(2) 策定に際し、各計画書の内容を精査し積み残し総額を集約した上で改訂作業を行うか。それとも従来通り業者に外注して成果物を受け取るだけにとどまるか。	市	長
				(3) 予算編成と連動させ、全庁横断的に進捗管理する仕組みを構築する考えはあるか。構築する場合、担当部署と完成時期を示されたい。	市	長
		4	今ある施設を守ることができるか	(1) 所管課は「ガードレールの塗装は全然考えていない」と述べた。新しいガードレールを設置しながら既存のものを朽ちさせる。総合管理計画が掲げる予防保全の方針が現場に届いていない理由と、予防保全に転換する具体的な計画を示されたい。	市	長
				(2) 市道のガードレール・防護柵等の設置年度別台帳はあるか。台帳がない場合いつまでに整備するか。設置後30年以上経過したものの割合と直近	市	長

		5年間の補修実績も示されたい。		
		(3) 港橋の欄干など、今補修すれば錆止め塗装で済む段階を放置すれば大規模修繕が必要となる。予防保全の観点から今後の補修計画を示されたい。	市	長
5	「できない」は「やらない」ではないか	(1) 国道389号の除草について「年間8,400万円かかるからできない」と答弁した。私が7か月間一人で除草作業に取り組み、県が片付けを行ったことで8キロの大規模除草がほぼ完了した。その後、市が約700万円で受託して約600万円で発注した。「できない」は「やらない」という意思の問題だったことをどのように認識しているか。この構造は施設管理計画の積み残し問題にも共通していないか。	市	長
		(2) 脇本赤瀬川線・脇本荘線をはじめ他の県・国管理路線の維持管理業務を積極的に受託することで、地域の道路環境を地域自身で守る体制を作ることができる。地域事業者が担い手となることで、雇用と地域への誇りも生まれる。何より、地域を自分たちで守るという意識が住民と職員の双方に育つことが、阿久根市の将来にとって最も大切なことではないか。受託拡大を地域環境維持の政策として位置づけ、県・国への働きかけを強化する考えはあるか。	市	長
6	市民が判断できる情報環境を作れるか	(1) 市民が阿久根市の現実を知ろうとしても、施設管理計画は非公開とされ、議員には提	市	長

				<p>示を拒否され、財政課は把握していない。情報がない状態では、市民は何を根拠に市政を判断すればよいのか。個人情報に関わらない行政情報を市民の請求を待たずにホームページで原則公開する運用に転換する考えはあるか。</p> <p>(2) 千葉県習志野市は公共施設マネジメント白書をネット公開したことで市民の意識が変わり、施設統廃合に向けた住民協働が実現した。福島県会津若松市はオープンデータ推進で縦割り行政の弊害を解消し業務効率化を実現した。情報の公開が市民を当事者に変える。阿久根市もこの転換を図る考えはあるか。</p> <p>(3) 市民・議会・執行部が同じデータを見ながら阿久根市の将来を共に考えられる状態、それが今の阿久根市に最も必要なことではないか。施設管理計画等の行政情報の見える化に向けた具体的な取組みと期限を示されたい。</p>	市	長
11	11	木下孝行	<p>1 薩摩半島西方沖（阿久根市）洋上風力発電について</p> <p>2 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅について</p>	<p>(1) 今後の事業計画と展開を示せ。</p> <p>(2) 早めに協議会を設立し、意見交換や情報の共有化を行い、機運醸成を図るよう求めているが、どのように考えているか。</p> <p>(3) 県・国に対しての洋上風力発電の情報提供をいつ頃と想定しているのか。</p> <p>(1) 用地の先行取得について、土地開発公社が用地買収を進めているが、進捗状況と完了の見込は。</p> <p>(2) 令和6年第3回定例会での答</p>	市	長
					市	長
					市	長
					市	長
					市	長

			<p>3 青果市場跡地を含めた旧港周辺の整備計画と観光拠点化について</p> <p>4 水産業の推進について</p>	<p>弁で、実施設計に入るときに薩摩川内市や長島町との協議をしていきたいと答えている。実施設計に入る前提でのたたき台となる計画案が必要であるが、商工会議所を中心とした市内関係者等と協議に入っているのか。</p> <p>(1) 現在、白紙状態にある青果市場跡地活用の今後の予定を示せ。</p> <p>(2) 「うみ・まち・にぎわい」再生整備計画に代わる整備計画、または計画変更し、「にぎわいのあるまちづくり」を進めてほしいと思うがどうか。</p> <p>(3) 新道の駅と連動したまちづくりが絶対的に必要と思うが、どのように考えているか、別に考えがあるのか。</p> <p>(1) 北さつま漁業協同組合が、フィッシュポンプの導入で水揚げ時間短縮や労力軽減・鮮度維持などで成果を出していると聞けるが、状況はどうか。更に増設を求める声を聞いているが、その考えはあるか。</p> <p>(2) 北さつま漁業協同組合青壮年部で視察調査研修を行い、ナマコ生産養殖に向けて取り組んでいると聞いているが、状況はどうか。</p>	市 市 市 市 市	長 長 長 長 長	
12	3	川原 慎一	<p>1 本市の防災教育について</p> <p>2 本市の教職員の状況について</p>	<p>(1) 本市の学校における避難訓練の実施状況を示せ。</p> <p>(2) 集中豪雨、台風、地震などの自然災害から児童生徒の命を守るため、児童生徒の発達の段階に応じた、本市独自の教材が必要と考えるがどうか。</p> <p>(1) 児童生徒数の減少により、学級数や教職員数も減少していると考えるが、本市の状況を示せ。</p>	教 教 教	育 育 育	長 長 長

			(2) 教員不足が懸念されているが、本市の各学校への配置状況を示せ。	教 育 長
			(3) 学校の教職員定数について必要数が確保できない場合、本市ではどのような対応を考えているか。また、その場合の課題は何か。	教 育 長
		3 教職員の働き方改革について	(1) 本市の土曜授業の本年度実施状況について、その理由を含めて示せ。	教 育 長
			(2) 本年度は、4月8日始業式、9日入学式と例年に比べ2日遅い実施だったが、その成果と課題は何か。	教 育 長
			(3) 本市でも、本年3月に「業務量管理・健康確保措置実施計画」を定められたが、本市独自の取組みはあるか。	教 育 長
		4 新阿久根市立図書館について	(1) 新図書館について、指定管理者と運営面の協議について、現在どのような取組みが行われているか。	教 育 長
			(2) 協議の中で指定管理者から意見・要望が出されているか。	教 育 長
			(3) 新図書館の周知は市民には広報「あくね」で図られつつあるが、児童生徒にはどのように周知しているのか。	教 育 長
		5 本市の財政状況について	本市の財政は、主要な財政指標は健全であり、基金も将来の負担を見据え計画的に積み立てられていると考えており、財政面の懸念はないと認識しているが、市長の見解を伺う。	市 長